

# 令和2年度 施策評価シート

## ■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標3 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち			
	4 障がい者がともに暮らせるまちづくり			
施策名	(2) 地域で安心して暮らせる環境づくりの推進			
施策コード	3-4-2	施策構成	5 事務事業	決算額 1,336,986 (千円)

## ■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	障がい者に対する支援が充実していると思う町民の割合	%
②	客観指標	障がい者(児)のサービス利用者数(介護福祉課)	人/年
③			
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	11.1	12.8	16.7	15.1	17.8	—	↗	—		
②	4,570	7,344	8,521	9,537	11,708	12,504	8,000	100%		
③										
④										

## ■施策における総括

前年度までの課題	今後も障がい福祉サービス給付費の増加が見込まれるため、事業所から適正にサービスの請求がされるように、積極的に計画相談支援事業所に対する情報提供が必要となる。また障がい者が利用できるサービス情報を確認できるように、ホームページ等でわかりやすい周知が必要。
今年度の取り組み(成果、効果)	65歳以上のサービス費支給の適正化を行ったほか、サービス内容やサービス支給量の厳格な審査を行い、適正な給付費の支払いとなるよう努めた。障がい者が必要な在宅福祉サービスを利用できるよう、配布資料の内容を見直し、より詳しくわかりやすいものに改善を行った。医療費請求内容について、請求誤りのチェックを行うことが効率的にできるシステムの構築を行った。
次年度以降に改善すべき課題	希望するサービスの内容や支給量が適切であるか、サービス等利用計画の内容の精査や本人や家族より聞き取りを行い、適切なサービス決定に努める。

## ■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。	○	②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。		③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。